# 平成25年２月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年10月11日


上場会社名　　株式会社ダイヤモンドダイニング　　上場取引所　　大
コード番号　　3073　　ＵＲＬ　http://www.diamond-dining.com/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）松村　厚久
問合せ先責任者　（役職名）取締役管理本部長　　（氏名）樋口　康弘　　ＴＥＬ　03-6860-3250

四半期報告書提出予定日　　平成24年10月12日　　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　有
四半期決算説明会開催の有無　　：　有　　（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．平成25年２月期第２四半期の連結業績（平成24年３月１日～平成24年８月31日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 25年２月期第２四半期 | 12,324 | 20.5 | 284 | 98.5 | 351 | 83.3 | 82 | － |
| 24年２月期第２四半期 | 10,231 | 22.6 | 143 | △57.0 | 192 | △49.1 | △57 | － |

（注）包括利益　　25年２月期第２四半期　　91百万円　（－%）　　24年２月期第２四半期　　△57百万円　（－%）

| | １株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後１株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年２月期第２四半期 | 3,426.18 | － |
| 24年２月期第２四半期 | △2,366.42 | － |

（注）平成24年６月１日付で普通株式１株につき２株の株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、１株当たり四半期純利益を算定しております。

（２）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 25年２月期第２四半期 | 12,875 | 2,858 | 22.2 |
| 24年２月期 | 12,184 | 2,839 | 23.3 |

（参考）自己資本　　25年２月期第２四半期　　2,858百万円　　24年２月期　　2,839百万円

２．配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第１四半期末 | 第２四半期末 | 第３四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年２月期 | － | 0.00 | － | 6,000.00 | － |
| 25年２月期 | － | 0.00 | | | |
| 25年２月期（予想） | | | － | 2,500.00 | 2,500.00 |

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無
（注）平成24年２月期の期末配当金には、記念配当1,000円を含みます。
（注）平成24年６月１日付で普通株式１株につき２株の株式分割を行っております。

３．平成25年２月期の連結業績予想（平成24年３月１日～平成25年２月28日）

（%表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | １株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 25,300 | 8.9 | 1,000 | 12.2 | 1,100 | 12.4 | 450 | 107.2 | 18,613.50 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無
（注）平成24年６月１日付で普通株式１株につき２株の株式分割を行っておりますが、当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、１株当たり当期純利益を算定しております。

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　有

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　有
②　①以外の会計方針の変更　　：　無
③　会計上の見積りの変更　　：　無
④　修正再表示　　：　無

（注）詳細は、添付資料Ｐ．３「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ①　期末発行済株式数（自己株式を含む） | 25年２月期２Ｑ | 24,220株 | 24年２月期 | 24,220株 |
| ②　期末自己株式数 | 25年２月期２Ｑ | 44株 | 24年２月期 | 44株 |
| ③　期中平均株式数（四半期累計） | 25年２月期２Ｑ | 24,176株 | 24年２月期２Ｑ | 24,176株 |

（注）平成24年６月１日付で普通株式１株につき２株の株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来見通しに関する記述は、当社が本資料発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因により本資料記載の予想と異なる可能性がございます。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ．３「１．当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）セグメント情報等 …… 9
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10

## １．当四半期決算に関する定性的情報

### （１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要等を背景として緩やかな回復基調が見られたものの、世界景気の下振れや金融資本市場の変動が国内景気を下押しするリスクもあり、依然として景気の先行きが不透明な状況でありました。

当社グループを取り巻く経営環境におきましても、消費税率引き上げや所得動向への懸念等による消費者の低価格志向や節約志向は依然として根強く、加えて夏場にかけての天候不順等も重なり、引き続き厳しい状況にて推移いたしました。

このような環境下、当社グループは当期を第２創業期と位置付け、『世界一のエンターテイメント外食企業グループ』へ向けた収益基盤強化を図るため、マルチブランド戦略へ舵を切り、ブランディング及びマーケティング強化による集客力向上に積極的に取り組む一方、センター物流の推進等によるコスト削減、店舗のスクラップ＆ビルド及び業態変更にも取り組んでまいりました。

また、当第２四半期連結累計期間において、当社グループは、ライセンス事業に進出いたしました。これは、当社の子会社である株式会社ゴールデンマジックが前連結会計年度において、低価格高品質の新規業態として開発・出店した「やきとり ○金（まるきん）」（平成24年８月31日現在 直営７店舗展開）が好調に推移していることから、同業態をライセンスモデルとして事業展開することで当社グループの業績拡大、安定収益化等が図れると判断したものであります。今後、同事業を当社グループの新たなる事業の柱とすべく積極的に取り組んでまいる予定であります。

当社グループ各社の店舗展開状況及び直営店舗数につきましては、当社単体では「舞踏の国のアリス（渋谷）」１店舗の新規出店、３店舗の業態変更（２店舗を１店舗への統合含む）を実施し計92店舗、株式会社シークレットテーブルはグループ初の京都出店となる「薩摩ごかもん」「やきとり とりあさ」計２店舗の新規出店、２店舗のグループ内譲受、３店舗の業態変更、１店舗の退店により計35店舗、株式会社ゴールデンマジックは「やきとり ○金（まるきん）」３店舗の新規出店、グループ内譲渡１店舗により計42店舗（ライセンス店舗数はゼロ）、株式会社サンプールは１店舗のグループ内譲渡を実施し計４店舗、アミューズメント事業を主に展開する株式会社バグースは新業態となります「Hiroo Golf IMPACT」（ゴルフスクール）１店舗の新規出店、３店舗の退店により計52店舗となっております。米国ハワイ州の１店舗を含めた平成24年８月31日現在における当社グループの直営店舗数は、計226店舗となっております。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間の連結業績は、売上高12,324百万円（前年同期比20.5%増）、営業利益284百万円（前年同期比98.5%増）、経常利益351百万円（前年同期比83.3%増）となりました。また、特別損失として、閉店の意思決定等を行なった店舗に対し減損損失102百万円を計上したこと等により、四半期純利益は82百万円（前年同期は57百万円の四半期純損失）となりました。

セグメント業績は以下のとおりであります。

なお、当第２四半期連結累計期間において、当社グループはライセンス事業に進出したことにより、同事業を新たなセグメントとして追加しております。

① 飲食事業

マルチブランド戦略へ舵を切りました飲食事業におきましては、当社グループの強みである『コンセプト』・『空間』・『ストーリー』を一層魅力あるものにし、お客様のリピート率向上を図るため、従来以上にQSC（Quality：品質. Service：サービス. Cleanliness：清潔さ）の強化・徹底に取り組んでまいりました一方、今後の集客力強化及び売上高向上施策の一環として第３四半期後半から本格稼働予定の予約システム、予約コールセンターの一部を一部店舗にてトライアル実施するなど、営業力強化の仕組作りにも努めてまいりました結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は9,132百万円（前年同期比7.0%増）、セグメント利益は726百万円（前年同期比14.5%増）となりました。

② アミューズメント事業

「BAGUS」ブランドにて展開しておりますアミューズメント事業におきましては、ビリヤード・ダーツ部門では初心者をターゲットとした新規顧客層の獲得及び卓球台導入店舗の拡大による顧客層拡大に注力し、複合カフェ部門ではエリアに適した価格帯の新ブランドの追加投入や非稼働エリア・非稼働時間帯の稼働向上策を実施することで、集客力向上に取り組んでまいりました結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は3,161百万円（前年同期比86.3%増）、セグメント利益は357百万円（前年同期比113.6%増）となりました。

③ ライセンス事業

ライセンス事業におきましては、定期的な事業説明会、店舗見学会等による積極的な加盟店募集を実施いたしました結果、当第２四半期連結累計期間において16加盟を獲得することができました（但し、平成24年８月31日現在16加盟全て未出店）。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は30百万円、セグメント利益は４百万円となりました。

なお、同セグメントにつきましては前年同期実績がないため、前年同期比較はしておりません。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第２四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ691百万円増加し、12,875百万円となりました。主な要因といたしましては、現金及び預金が925百万円増加した一方、有形固定資産が146百万円、投資その他の資産が89百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ672百万円増加し、10,016百万円となりました。主な要因といたしましては、１年内返済予定の長期借入金、社債及び長期借入金がそれぞれ214百万円、90百万円、568百万円増加した一方、短期借入金が201百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ19百万円増加し、2,858百万円となりました。主な要因といたしましては、利益剰余金及び為替換算調整勘定がそれぞれ10百万円、９百万円増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間における当社グループの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業キャッシュ・フローが407百万円の資金増、投資活動によるキャッシュ・フローが５百万円の資金減、財務活動によるキャッシュ・フローが558百万円の資金増となりました。その結果、当第２四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は3,249百万円（前連結会計年度末比969百万円の増加）となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は407百万円（前年同期は629百万円の収入）となりました。これは、主として税金等調整前四半期純利益を245百万円計上したほか、減価償却費を368百万円計上したこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は５百万円（前年同期は314百万円の支出）となりました。これは、主として差入保証金の回収による収入204百万円を計上する一方、新規出店に伴う差入保証金の差入による支出92百万円を計上したこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間において財務活動の結果獲得した資金は558百万円（前年同期は857百万円の収入）となりました。これは、主として長期借入による収入1,750百万円を計上する一方、長期借入金の返済による支出966百円を計上したこと等によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年10月５日に、平成24年４月13日に公表いたしました通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、同日公表の「特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## ２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第２四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（１株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用）

第１四半期連結会計期間より、「１株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第２号　平成22年６月30日）、「１株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第４号　平成22年６月30日公表分）及び「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第９号　平成22年６月30日）を適用しております。

## ３．四半期連結財務諸表
### （１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>（平成24年２月29日） | 当第２四半期連結会計期間<br>（平成24年８月31日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,311,554 | 3,237,459 |
| 売掛金 | 282,951 | 288,446 |
| 商品 | 10,399 | 11,860 |
| 原材料及び貯蔵品 | 109,861 | 112,009 |
| その他 | 879,433 | 934,694 |
| 貸倒引当金 | △1,350 | △1,820 |
| 流動資産合計 | 3,592,850 | 4,582,650 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物 | 7,373,697 | 7,281,461 |
| 減価償却累計額 | △4,325,068 | △4,361,905 |
| 減損損失累計額 | △498,596 | △500,662 |
| 建物（純額） | 2,550,031 | 2,418,893 |
| 工具、器具及び備品 | 2,150,811 | 2,175,388 |
| 減価償却累計額 | △1,816,422 | △1,842,298 |
| 減損損失累計額 | △60,088 | △53,094 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 274,300 | 279,995 |
| 土地 | 90,216 | 90,216 |
| リース資産 | 481,772 | 479,943 |
| 減価償却累計額 | △171,804 | △209,703 |
| 減損損失累計額 | △25,875 | △7,650 |
| リース資産（純額） | 284,093 | 262,589 |
| 建設仮勘定 | 965 | 1,082 |
| 有形固定資産合計 | 3,199,608 | 3,052,777 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 605,653 | 524,051 |
| その他 | 28,292 | 48,096 |
| 無形固定資産合計 | 633,945 | 572,148 |
| 投資その他の資産 | | |
| 差入保証金 | 4,241,165 | 4,128,180 |
| その他 | 516,856 | 540,842 |
| 貸倒引当金 | － | △771 |
| 投資その他の資産合計 | 4,758,021 | 4,668,251 |
| 固定資産合計 | 8,591,575 | 8,293,177 |
| 資産合計 | 12,184,426 | 12,875,827 |

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>（平成24年２月29日） | 当第２四半期連結会計期間<br>（平成24年８月31日） |
|---|---|---|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 497,045 | 525,276 |
| 短期借入金 | 491,600 | 289,800 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,812,372 | 2,027,262 |
| 1年内償還予定の社債 | 140,000 | 180,000 |
| 未払法人税等 | 261,112 | 162,654 |
| 賞与引当金 | 48,385 | 30,815 |
| 株主優待引当金 | 7,339 | 1,827 |
| 資産除去債務 | 20,263 | 48,739 |
| その他 | 1,527,851 | 1,523,911 |
| 流動負債合計 | 4,805,970 | 4,790,287 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 420,000 | 510,000 |
| 長期借入金 | 3,039,335 | 3,608,111 |
| 資産除去債務 | 377,922 | 395,464 |
| 負ののれん | 236,368 | 175,491 |
| その他 | 465,184 | 537,489 |
| 固定負債合計 | 4,538,810 | 5,226,555 |
| 負債合計 | 9,344,780 | 10,016,843 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 502,015 | 502,015 |
| 資本剰余金 | 492,015 | 492,015 |
| 利益剰余金 | 1,844,922 | 1,855,226 |
| 自己株式 | △2,413 | △2,413 |
| 株主資本合計 | 2,836,539 | 2,846,842 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| 為替換算調整勘定 | 3,105 | 12,141 |
| その他の包括利益累計額合計 | 3,105 | 12,141 |
| 純資産合計 | 2,839,645 | 2,858,984 |
| 負債純資産合計 | 12,184,426 | 12,875,827 |

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>（自　平成23年３月１日<br>至　平成23年８月31日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自　平成24年３月１日<br>至　平成24年８月31日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 10,231,568 | 12,324,017 |
| 売上原価 | 2,491,102 | 2,780,844 |
| 売上総利益 | 7,740,465 | 9,543,172 |
| 販売費及び一般管理費 | 7,596,937 | 9,258,217 |
| 営業利益 | 143,528 | 284,954 |
| 営業外収益 | | |
| 負ののれん償却額 | 60,877 | 60,877 |
| その他 | 27,936 | 62,869 |
| 営業外収益合計 | 88,813 | 123,747 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 39,261 | 46,296 |
| その他 | 1,011 | 10,425 |
| 営業外費用合計 | 40,273 | 56,721 |
| 経常利益 | 192,068 | 351,980 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 1,300 | 34,183 |
| その他 | 55 | － |
| 特別利益合計 | 1,355 | 34,183 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | － | 38,178 |
| 減損損失 | 100,682 | 102,743 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 120,737 | － |
| その他 | 9,069 | － |
| 特別損失合計 | 230,489 | 140,921 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△） | △37,065 | 245,241 |
| 法人税等 | 20,145 | 162,410 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△） | △57,210 | 82,831 |
| 四半期純利益又は四半期純損失（△） | △57,210 | 82,831 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第２四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第２四半期連結累計期間<br>(自　平成23年３月１日<br>至　平成23年８月31日) | 当第２四半期連結累計期間<br>(自　平成24年３月１日<br>至　平成24年８月31日) |
|---|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△） | △57,210 | 82,831 |
| その他の包括利益 | | |
| 為替換算調整勘定 | － | 9,035 |
| その他の包括利益合計 | － | 9,035 |
| 四半期包括利益 | △57,210 | 91,867 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △57,210 | 91,867 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | － | － |

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>（自　平成23年３月１日<br>至　平成23年８月31日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自　平成24年３月１日<br>至　平成24年８月31日） |
|---|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△） | △37,065 | 245,241 |
| 減価償却費 | 373,964 | 368,926 |
| 減損損失 | 100,682 | 102,743 |
| のれん償却額 | 44,254 | 88,070 |
| 負ののれん償却額 | △60,877 | △60,877 |
| 貸倒引当金の増減額（△は減少） | △50 | 1,241 |
| 賞与引当金の増減額（△は減少） | △8,380 | △11,076 |
| 本社移転費用引当金の増減額（△は減少） | △14,150 | － |
| 支払利息 | 39,261 | 46,296 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 120,737 | － |
| 売上債権の増減額（△は増加） | 3,781 | △6,266 |
| たな卸資産の増減額（△は増加） | 5,776 | △3,608 |
| 仕入債務の増減額（△は減少） | 34,522 | 28,231 |
| その他 | 379,490 | △118,185 |
| 小計 | 981,948 | 680,737 |
| 利息及び配当金の受取額 | 329 | 824 |
| 利息の支払額 | △43,628 | △46,296 |
| 法人税等の支払額 | △308,823 | △227,512 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 629,826 | 407,752 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の増減額（△は増加） | △93 | △1,046 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △242,229 | △77,283 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △4,985 | △6,406 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | △90,986 | － |
| 子会社株式の取得による支出 | － | △20,001 |
| 差入保証金の差入による支出 | △53,934 | △92,104 |
| 差入保証金の回収による収入 | 96,626 | 204,660 |
| 長期前払費用の取得による支出 | △12,569 | △36,281 |
| 資産除去債務の履行による支出 | － | △12,783 |
| その他 | △6,068 | 35,778 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △314,241 | △5,468 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額（△は減少） | 1,099,664 | △201,800 |
| 長期借入れによる収入 | 750,000 | 1,750,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △825,625 | △966,334 |
| 社債の発行による収入 | － | 200,000 |
| 社債の償還による支出 | △50,000 | △70,000 |
| 配当金の支払額 | △60,224 | △71,942 |
| その他 | △56,458 | △81,731 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 857,356 | 558,191 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | － | 9,035 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | 1,172,941 | 969,511 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,132,616 | 2,279,829 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 2,305,558 | 3,249,341 |

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自平成23年３月１日 至平成23年８月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 飲食事業 | アミューズメント事業 | 合計 | 調整額（注）１ | 四半期連結損益計算書計上額（注）２ |
|---|---|---|---|---|---|
| 売上高 | | | | | |
| （１）外部顧客への売上高 | 8,534,879 | 1,696,688 | 10,231,568 | － | 10,231,568 |
| （２）セグメント間の内部売上高又は振替高 | － | － | － | － | － |
| 計 | 8,534,879 | 1,696,688 | 10,231,568 | － | 10,231,568 |
| セグメント利益 | 634,859 | 167,473 | 802,333 | △658,805 | 143,528 |

（注）１．セグメント利益の調整額△658,805千円は、各報告セグメントに配分していない間接部門費用であります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
（固定資産に係る重要な減損損失）
「飲食事業」セグメントにおいて、撤退予定の５店舗について減損損失を計上しております。
なお、当該減損損失の計上額は、当第２四半期連結累計期間においては100,682千円であります。
（のれんの金額の重要な変動）
平成23年６月１日付で株式会社バグースの全株式を取得し、同社を子会社化いたしました。
当該事象によるのれんの増加額は、当第２四半期連結累計期間においては327,028千円であります。
なお、当該事象によるのれんの増加額は、「アミューズメント事業」セグメントより発生しております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自平成24年３月１日 至平成24年８月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | | 調整額（注）１ | 四半期連結損益計算書計上額（注）２ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 飲食事業 | アミューズメント事業 | ライセンス事業 | 合計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| （１）外部顧客への売上高 | 9,132,961 | 3,161,055 | 30,000 | 12,324,017 | － | 12,324,017 |
| （２）セグメント間の内部売上高又は振替高 | － | － | － | － | － | － |
| 計 | 9,132,961 | 3,161,055 | 30,000 | 12,324,017 | － | 12,324,017 |
| セグメント利益 | 726,968 | 357,714 | 4,038 | 1,088,721 | △803,766 | 284,954 |

（注）１．セグメント利益の調整額△803,766千円は、各報告セグメントに配分していない間接部門費用であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

３．第１四半期連結会計期間において、当社グループはライセンス事業に進出したことにより、同事業を報告セグメントに追加しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「飲食事業」セグメントにおいて、撤退予定の３店舗について減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第２四半期連結累計期間においては80,955千円であります。

「アミューズメント事業」において、撤退予定の１店舗について減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第２四半期連結累計期間においては21,787千円であります。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。